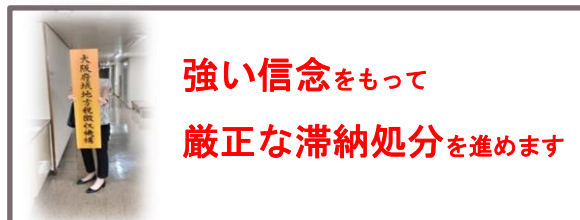


～卒・業・編～

日差しに春の温かさが感じられるようになってきました。天気がいい日には、お昼休みに大阪天満宮まで歩き、桜の開花を楽しみにしています。大阪府域地方税徴収機構でのお仕事も3月で卒業を迎えることになりました。この一年たくさんの方に支えられ、たくさんのお話を学ばせていただきました。この経験を生かして4月からも頑張ります！！



**強い信念をもって
厳正な滞納処分を進めます**

研修を受講して自己研鑽に励んでいます

	☆研 修 概 要☆
1 月	R7.1.16 徴収関係実務研修（伝達研修） 財産調査の着眼点 滞納整理の戦略・方針 他

研修を振り返って・・・
研修もいよいよ大詰めです。リーガル研修では、判例を使いながら、各種滞納処分の注意点、対応策等を学びました。また、実務研修では、納付約束を何度も不履行になっている事例を挙げ、グループ演習をしました。今までに考えもつかなかった徴収方法など、たくさん学びました。
国民の義務である納税。公平・公正性を保つためにここで学んだことを生かしていきたいと思っています。

学び伝えたい3つの技術

寄り添う...

滞納している理由が必ずあるはず。まずは、お話を聞かせてください。

時には厳しく...

納税は国民の義務です。納期内納税の大切さ、納付しなければならぬことを理解していただきます。

公平・公正・・・ほとんどの方は納期内納税者です。そんな方でも時には納付が厳しかったこともあったかもしれません。そのため、私たちは納税の公平性・公正性を保つために、滞納者の逃げ得は許しません。

「チョウゼイ」 併任職員 k

大阪府域地方税徴収機構は、滞納処分を前提とした厳正な徴収に取り組んでいます。厳しい徴収を実践するため、数多くの研修に参加し地方税法等の法令を学び、仕組みを理解してきました。この一年間、滞納者の方と真摯に向き合い、納税交渉を行って来ましたが、時には滞納者の方から厳しいお言葉をいただき辛く感じることもありましたが、しかし、納税の公平性・公正性を実現するために、強い使命感・信念をもって、一人でも多くの方が納期内納税者になっていただけるように取り組んでまいりました。

ある滞納者の方のお話です。分かってはいたけど、ついつい納税を後回しにして、住宅ローン等の支払いに充ててしまった。気が付いたら一括では払えない程の滞納額となってしまい、また納税を後回し・・・の悪循環。しかし、粘り強く繰り返す交渉の中、今回、ともに正面から納税に向き合い、厳しい滞納処分を含めつつも生活のしづらさへの共感と納税への理解を求め、また、生活再建に向けた生活相談を繰り返し、計画的に納付し一年で完納することができたこと、ともに喜んだことを思い出します。「今までは、催告書が届くことで、頭が痛かったけど、これで、すっきりしました。改めて納税に向き合うことの大切さを知り、来年から納期内にきちんと納付していきます。」と言葉をいただき、この仕事のやりがいを感じることができました。これから一人でも多くの方が納期内納税者になるために、ともに歩む「チョウゼイ」に取り組めます。

番外編「搜索」協力
雪がちらつく2月某日、大阪府下の某所にある個人宅で搜索を行いました。滞納者に家の搜索をするのは事前に告知していません。
滞納者は大変驚いた様子で、本当に搜索するんですね・・・と肩を落としていました。
国税徴収法では、必要に応じ、令状によらず、徴税吏員の判断で自宅などを強制搜索し、財産等を差押えることを認めています。
納税は、自主納付が原則です。徴税吏員も強制徴収は本望ではありません。こうならないために、徴税吏員は滞納者の方に「納税の理解」と「滞納整理の重要性」を伝え早期徴収実現のため、日々邁進しています。
まずは、お話をさせていただくことからです。令和7年度の課税もまもなくです。納付が厳しいかなと感じれば、決して放っておくことなく、まずはご相談ください。

徴収機構北支部 班長はじめ、リーダー、同僚、また、いつも見守ってくださっていた機構長、本部のみなさまにもお世話になりました。次は地元へ帰って徴税吏員の仲間たちと徴収機構での学びを更なる実践にかえて、精一杯、「チョウゼイ」します。併任職員 k

